

# 事務事業実績測定調査

10101030029	公共下水道(汚水)改良事業		
測定年度	2019(R1)年度	18500100	上下水道事業部汚水整備課
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	1:1.災害に対する備えができているまち	
	取り組みの方向	3.地震等の災害発生時に、被害を軽減できるよう、建築物の耐震化や、道路、橋梁、上下水道などの都市基盤の計画的な維持管理を図るなど、災害に強いまちづくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度		~		
根拠法令等	下水道法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	下水道施設の維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	下水道施設の的確な維持管理、更新を行っていくとともに、災害時における安全性の観点から既存施設の耐震化を図っていく。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	下水道総合地震対策計画に位置付けられた施設の内、耐震化工事が必要な施設に対する耐震化率 下水道総合地震対策計画に位置付けられた施設の内、耐震化工事が必要な施設で工事が完了した施設 ÷ 下水道総合地震対策計画に位置付けられた施設の内、耐震化工事が必要な施設					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	0	0	42		
実績	—					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.60
正職員数	0.00	0.00	0.44
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.16
再任用職員数	0.00	0.00	0.12
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.04
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	4,248
正職員人件費(換算額)	0	0	3,527
非正規職員人件費(計)	0	0	721
再任用職員人件費(換算額)	0	0	612
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	109
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	67,090
■事務事業の総計(千円)	0	0	71,338
国庫支出金	0	0	9,500
府支出金	0	0	0
市債	0	0	30,400
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	14,877
一般財源	0	0	16,561

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	施設の耐震化については、下水道総合地震対策計画に位置付けた施設の調査診断を行った。また、下水道長寿命化計画に基づき汚水管渠長寿命化工事を実施した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	下水道総合地震対策計画、下水道長寿命化計画及び下水道ストックマネジメント計画に基づき、施設の耐震化及び改築更新事業を行っていく。	

# 事務事業実績測定調書

10526030013	公共下水道(汚水)整備事業		
測定年度	2019(R1)年度	18500100	上下水道事業部汚水整備課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名	公共下水道(汚水)整備事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1958(S33)年度		~		
根拠法令等	下水道法 都市計画法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共下水道の整備により汚水と雨水が別々に処理されることで、都市基盤整備及び淀川水系の水質汚濁防止が出来ている状態。				
事業概要	生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、下水道の普及を促進する。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	公共下水道普及率 汚水整備人口÷行政人口					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	97.1	97.5	97.5	97.6		
実績	97.3					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	12.99	13.95	13.15
正職員数	9.99	10.05	9.41
非正規職員数(計)	3.00	3.90	3.74
再任用職員数	2.00	2.90	2.78
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.00	1.00	0.96
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	89,995	96,633	91,959
正職員人件費(換算額)	78,661	79,908	75,440
非正規職員人件費(計)	11,334	16,725	16,519
再任用職員人件費(換算額)	8,888	14,274	14,172
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	2,446	2,451	2,347
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,326,696	392,908	1,442,962
■事務事業の総計(千円)	1,416,691	489,541	1,534,921
国庫支出金	369,200	60,119	359,675
府支出金	0	0	0
市債	877,700	282,430	1,029,900
受益者負担	14,188	11,546	15,251
その他	0	0	0
一般財源	155,603	135,446	130,095

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.21%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>事業生活環境の改善や河川水質保全のため、公共下水道の整備完了に向けて、下水道(汚水)整備を推進(整備人口普及率97.3%)                      目標の実績度については、大阪北部地震により、平成30年度から繰り越した工事を全て完了し、整備人口普及率の目標値97.1%を達成したが、行政人口の減少により97.3%となり達成度は100.21%となった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	整備済み区域内に点在する未承諾地区や整備困難地区などの未整備地区の解消に取り組みます。	

# 事務事業実績測定調書

10999990077	汚水整備課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	18500100	上下水道事業部汚水整備課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管事務が適切かつ効率的に執行されている状態。				
事業概要	課の運営業務				

## 2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.56	1.87	1.94
正職員数	1.28	1.16	1.15
非正規職員数(計)	0.28	0.71	0.79
再任用職員数	0.00	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.28	0.61	0.69
■人件費総額(千円)	10,633	10,860	11,120
正職員人件費(換算額)	10,079	9,223	9,220
非正規職員人件費(計)	554	1,637	1,900
再任用職員人件費(換算額)	0	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	554	1,145	1,390
■直接経費(千円)	3,577	2,904	0
■事務事業の総計(千円)	14,210	13,764	11,120
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,210	13,764	11,120

### 4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	所管事務に係る他部局との連絡調整、各種庶務事務の執行や公用車の維持管理等を適正に行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、円滑な事務の執行に努めていく。	